

済美小学校

みんなおいでよ！わくわく楽しい学校図書館

今の学校図書館

済美小学校では、全学年週1回の図書の時間を使い、読書活動を行っている。児童が本に興味をもてるよう、読み聞かせやブックトークを行っている。おはなし会を企画し、児童の想像力を養う活動も行い、常に本を身近に感じるような環境づくりに努めている。また、ICTと図書資料の併用を行えるよう、ICT支援員と協力し、学校独自のパスファインダーの作成や資料リストの作成を行っている。

学校図書館の運営

- ・学校独自の課題図書の設定
- ・学校図書館活用のための学校図書館年間指導計画を作成
- ・学校図書館運営のため、教員へOJTの実施
- ・読書週間の企画・運営等

1年間の主な活動

- ・全学年課題図書の実施
- ・調べ学習用資料提供
- ・読書週間を各学期に実施
- ・年間を通して図書の時間の読み聞かせやブックトーク
- ・ボランティア保護者による朝の読み聞かせ活動
- ・ピッピのおはなし会
- ・図書委員と教員による本の紹介ポスター(2学期)
- ・本の帯作成(2学期)
- ・教員による多学級での読み聞かせ(3学期)



特色ある取組

【学校独自の課題図書設定】

学校独自の課題図書を設定し、各学年の発達段階に応じた読書活動を進めている。

通常2冊貸出の内、1冊は課題図書から選び、一言感想を記入する。

【すぎなみ本の帯アイデア賞】

9月～10月にかけ、全学年で「すぎなみ本の帯アイデア賞」に応募する帯作りを行っている。図書の時間を使用し、自分の大好きな本や友達に紹介したい本を1冊選び、その本に合った帯を作成する。

【図書委員や教員による本の紹介】

2学期の読書週間に合わせ、図書委員と教員全員が自分のおすすめの本を紹介するポスターを作って、図書館前の廊下に掲示している。いろいろな分野の本を選んで紹介することで、児童の本への興味関心が広がる。また、知っている先生や友達の紹介する本なので、読書への意欲や関心につながっている。

これからの学校図書館

児童の読書活動は定着してきているが、更に学年に応じた本を選ぶ力を養えるような学校図書館作りが必要だと考える。また、調べ学習や探究型学習を図書館で行えるよう、図書資料とICT資料の充実を図る。